

「学力日本」を目指します！

「知・徳・体」のバランスのとれた学力をく ◆学校教育課 回内線384

子どもたちが変化の激しいこれからの社会を生きるため、「確かな学力」を身に付け、生きる力を育む教育の推進に取り組み、引き続き、「学力日本」を目指します。本市では、一般的な学力調査によって測定できる、「学力日本」の力だけを学力とは捉えていません。思いやりの心などの「徳力」や、走力や投力などの「体力」も、広い意味での学力であり、「知・徳・体」のバランスのとれた力、これを学力と捉え、子どもたち一人一人の学力を伸ばしていくために、各学校では具体的な取組を推進します。お陰さまで、学力の伸びは順調です。

また、生きる力を育むための土台として、「熊谷の子どもたちは、これができる！」「4つの実践」と「3減運動」に引き続き積極的に取り組めます。大人が手本となり、学校・家庭・地域が一体となって推進していきます。引き続き、ご協力をお願いします。



くまびスクールでの学習支援

体

運動の特性や楽しさを味わわせる授業を行い、子どもたちの体力と運動の技能を高め、体力向上に取り組めます。

- 【具体的な取組】
- ・運動量を増やし、汗をかかせる体育授業
 - ・明確な個人目標への挑戦
 - ・体育指導専門員の訪問指導(児童生徒の体力向上・教師の指導力向上)
 - ・生活習慣の改善(HQCシートの活用)
 - ・食育の充実
 - ・運動会、体育祭における防災種目の導入
 - ・2019年ラグビーワールドカップに向けた意識啓発(全小学校におけるラグビー教室の開催)



ラグビー教室

幡羅高等小学校「家庭心得」から
「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る。」
これは、市内弥藤吾にあった「幡羅高等小学校」の保護者あての通知「家庭心得」(明治二十二年)にある言葉です。まさに、教育の原点です。
本市では、これを熊谷教育の羅針盤と位置付け、教育施策を推進しています。

知

学習内容を明確にした授業を行い、子どもたちに「わかった」「できた」「ほめられた」という体験を積み重ねていきます。さらに学力向上補助員を78人から85人に増員し、一人一人に応じた、きめ細かな指導の充実に取り組みます。

- 【具体的な取組】
- ・教師の指導力を高める研修の充実
 - ・中学校英語科「ラウンドシステム(教科書を一年間で何度も繰り返す指導法)」による指導
 - ・小学校3～6年生、毎日の外国語活動
 - ・学力向上テキスト、映像版学力向上テキストの活用
 - ・補充学習充実のための「くまびスクール」(全中学校において週1回程度実施)

熊谷市 保護者のスマートフォン「4つの実践」

子どもがスマートフォンを上手に使うためには、保護者が手本となる必要があります。

子供は、大人の言ったようにはやらない、大人がやったようにやります。

これだけは実践しよう!

- 1 子供のスマホにはフィルタリング設定をする。
- 2 午後9時以降は使用しない。
- 3 食事中や旅行中等の「ながら」操作をしない。
- 4 他人を傷つける言葉や個人情報を書き込まない。

大人が手本となって

家で実践

スマートフォンは小さなパソコンです。インターネットの危険性に十分注意し、ルールとマナーを守って安全に使いましょう。

熊谷市PTA連合会・学校PTA



おはやし体験



実生活における「見える化」の実践

徳

子どもたちがよりよく生きるための道徳的実践力を養っていきます。「ここは誰にも見えないけれど、こころづかいは見える」という言葉のとおり、行為に表すことが価値あることとして、道徳的実践力の「見える化」に取り組めます。

- 【具体的な取組】
- ・道徳の時間における子どもの心の変容の「見える化」
 - ・実生活における「見える化」の実践
 - ・いじめ撲滅宣言の実践・徹底
 - ・命の大切さを学ぶ「いのちの授業」
 - ・地域の教育力を生かした体験活動の充実
 - ・ノーマライゼーション教育、特別支援教育の推進

【毎日、必ず朝食を食べる割合】 (%)

	目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市全体	100	98.0	97.8	97.6

【授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合】(アンケート結果より「わかる」と「だいたいわかる」の合計値) (%)

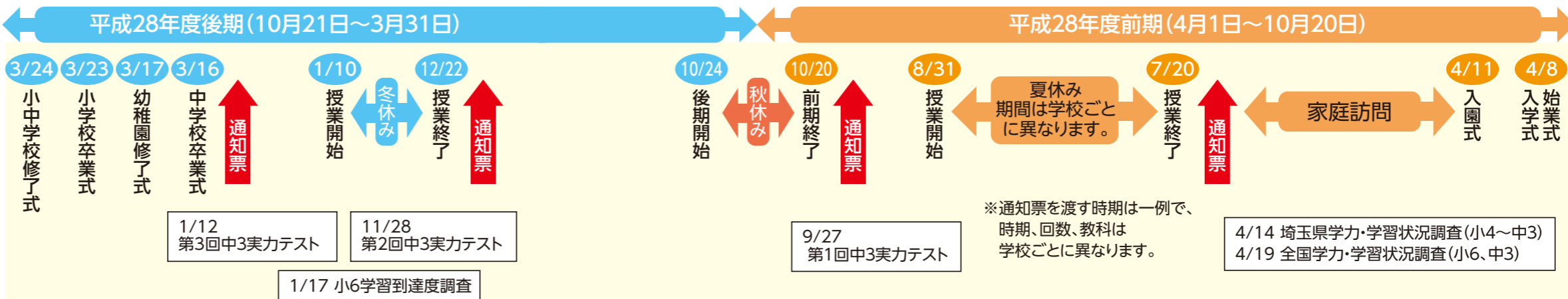
	目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学5年生	95.0	94.0	96.9	95.0
中学2年生	90.0	76.1	80.7	80.1

【熊谷の子どもたちは、これができる！「4つの実践」と「3減運動」】(7つの項目の合計) (%)

	目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市全体	100	87.5	87.2	88.9

【新体力テストで県平均を上回る項目の割合】 (%)

	目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市全体	80	68.8	78.5	88.2



一人で悩まず、ご相談ください

◆教育相談窓口 回内線551

相談内容

- ・不登校、非行、問題行動、いじめ
- ・障害、発達の遅れ
- ・児童生徒の教育

相談方法

- ・面談相談または電話の相談

相談日 月～金曜日(9:30～16:30)

「暑さ対策」涼しさ体感アート事業

①階段アート作品の募集～あなたの作品が熊谷市の夏を彩ります!～

熊谷・籠原両駅の階段へ展示する涼しさを感じられるアートデザインを募集します。採用者には、記念品を贈呈します。

応募作品 「涼」「水」「青」をテーマとした作品(絵画・CG・写真などのアート)

応募資格 個人・団体問わず、どなたでも応募できます。

応募方法 応募用紙および応募作品をEメール、郵送、持参のいずれかで企画課へ提出してください。

※応募用紙は市ホームページまたは企画課にあります。

※応募用紙1枚につき1作品とし、応募書類は返却しません。

応募締切 5月20日(金)必着

作品展示期間 7月1日(金)～9月30日(金)

作品	熊谷駅正面口階段	籠原駅北口階段(2か所)
展示箇所	熊谷駅南口階段	籠原駅南口階段(2か所)

注意事項

・応募者多数の場合、展示作品を市で調整させていただく場合があります。

・写真作品の場合は、できるだけ画像解像度を高いものとしてください。

・応募作品は、階段の形状により加工・修正する場合があります。

・階段の下部に企業等の協賛表示枠が入る場合があります。(作品には重ならないよう配慮します。)

・籠原駅北口西階段は、「中学生以下の部」として中学生以下の方の作品を優先的に展示します。

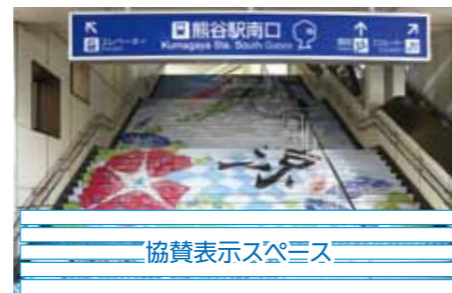


昨年の実施例(熊谷駅正面口)

②協賛(掲載広告)の募集

涼しさ体感アート事業の趣旨にご理解、ご賛同いただける企業、団体の方は、ぜひ協賛をお願いします。

施設	協賛額	特典
熊谷駅南口階段	80,000円/枠(各最大5枠)	階段アート展示期間7/1(金)～9/30(金) 当該階段に設ける、協賛表示枠の提供(1段/1枠) ◎掲載内容 企業名、ロゴマーク等
籠原駅南口階段(東階段) ※籠原若竹幼稚園側	40,000円/枠(各最大3枠)	サイズ 縦14cm×横640cm
籠原駅南口階段(西階段) ※諏訪神社側		サイズ 縦14cm×横382cm



協賛表示の箇所(熊谷駅南口の例)

協賛の方法および特典 事業の趣旨にご賛同いただいた場合、特典として階段アート展示をする階段の一部に協賛表示を掲載します。

◆企画課 ☎内線528

Eメール kikaku@city.kumagaya.lg.jp

応募方法 市ホームページにある(画像の入稿方法はイラストレーター形式を推奨します。)協賛応募用紙を、Eメールにて下記アドレスに提出してください。

応募締切 5月20日(金)必着

※協賛表示枠の位置(段)については市で調整させていただきます。

※デザインについては、事業趣旨をご理解いただき、作品テーマと調和の図れるもの(色彩、文言)としてください。

※広告の意匠について、作品との調和が図れない場合、変更を依頼する場合があります。

※応募多数の場合は、表示枠を市で調整させていただく場合があります。

ラグビーワールドカップ2019に向け、ラグビーに詳しくなろう!

ラグビークイズ

ラグビーボールはどれでしょう?



ラグビークイズの答えはページの一番下をご覧ください。

おたよりパレット

テーマ

長年大切にしているもの

大切なものと共に思い出も大切になさっているのが深々と感じられ、心が温かくなりました。ぜひ、これからも大事になさって下さい。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ2月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 中学生の時に読んで進路を決めた雑誌の切り抜きは、今も大切に持っています。(40代・女性)
- 35年前になけなしの金を出して買った腕時計です。(50代・男性)
- 父が植えてくれたゆずの木です。毎年たくさんのゆずが取れます。50年以上経ちますが、今も大切にしております。(60代・男性)
- 一期一会という言葉がありますが、私は人と人との出会いを大切にしております。(50代・女性)
- 自転車。娘が中1から乗っていて、今は私が乗っていて30年近くになります。(70代・男性)
- 父の形見の金の指輪です。少し大きいのですが、他の物と重ねています。父がいなくなると30年以上経ちました。(60代・女性)

ラグビークイズの答え：正解はC。Aはサッカーボール。よく間違えられますが、Bはアメフトのボール。ラグビーボールには両端の白い線と中央の縫い目はありません。



絵馬に願いを

2月25日、文殊寺の大縁日が行われました。知恵をつかさどる文殊菩薩が本尊です。ぎっしりと掛けられた絵馬には様々な願いが込められていました。



歌って、踊って、体を動かして!

3月6日、さくらめいとで熊谷市レクリエーション協会創立30周年記念大会が開催されました。記念式典のほか、58団体、ダンスや舞踊、カラオケなど89演目を披露しました。



ニャオざねが新一年生を見守ります

2月23日、第二なでしこ保育園でランドセルカバー贈呈式が行われました。このランドセルカバーを見たら皆さんで見守り、交通事故を防ぎましょう。

フォトニュース

2016.4
Photo News



ムサシトミヨはどのくらいいるかな?

2月16日・17日に元荒川で、ムサシトミヨ生息数調査が行われました。当調査は、世界で熊谷市の元荒川にのみ生息するムサシトミヨの生息数および生息状況を把握するため、ムサシトミヨ保全推進協議会により実施されました。



女子ラグビーチームアルカス熊谷を視察

2月17日、埼玉県知事の「とことん訪問」が県北部地域で行われ、市長は県知事とともに、アルカス熊谷を訪れました。当日は、練習風景を見学した後、選手との意見交換会が行われました。

読んで当てよう 市報クイズ

今月のテーマ、「雨の日の過ごし方」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「雨の日の過ごし方」のコメントを必ず記入し、4月25日(月)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☎ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

2月号の正解 ①ブルー ②大平
◆応募総数68通中、正解65通

- 次の方の□に入ることばを、それぞれお答えください。
- ① 秩父鉄道本線新駅の名称は「□」 流通センター駅です
 - ② 熊谷市は「学力 □」を目指します!

今月のプレゼント



「お食事処 表参道」ご提供のもつ煮定食を正解者の中から抽選で15人に提供します。
所在地:成沢1157-27
電話:048-536-7241

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課☎内線212までお問合せください。

夢追人

「将来は長編映画監督に」

映像ディレクター

細井 洋介さん(板井出身)



留学の決意と

映画との出会い

国際的に活躍できる人になりたいという気持ちが生えたのは、中学でのニューヨーク・ランド交換留学がきっかけでした。もともと絵や音楽が好きで、それらを総合的に表現できるのが映画だと知り、高校卒業後、本場で学びたいと思いハリウッド留学を決めました。

強みを活かして

存在感アップ

ロサンゼルスで2年間勉強した後、1年間映画製作

の現場で仕事をしました。初めは雑用でしたが、次第に照明などを任せてもらえるようになりました。

その後、さらに多様な文化が混ざり合ったニューヨーク市立大学の映画製作科に編入。クラスメートは全員監督志望のライバルで、どうしても言語面は不利で悔しい思いをしましたが、撮影には自信があったので得意分野で勝負し、撮影監督として次第に校内での立ち位置を確立していきました。結果的に最高のスタッフで作り上げた卒業制作は、国内外数々の映画祭、そして最後はフランスのカンヌ国際映画祭で上映されました。

旅番組との出会い

卒業後もニューヨークで多くの撮影に携わり、人脈も広がっていきました。新たなステップとして、VOGUEなどファッション系の映像を手掛け始めた矢先、ビザの申請が通らず突然の帰国。アメリカでの8年間を否定されたような気がしてショックを受けました。そこで再度、夢への道筋を考えました。そんな中、友達から旅番組の撮影の仕事



映像をチェックする細井さん

を紹介してもらい、エジプトに飛びました。これが縁で南アフリカ、イタリア：と気づけば今まで訪れた国は30か国を越え、世界中で仕事をさせてもらえるようになりました。次はオリンピック関連の撮影でブラジルに向かいます。外に踏み出し、違う文化に触れることは素晴らしいことです。問題の絶えない世界の物事に対し、いつも多角的な視点を持てるようになりまします。将来的には長編映画を製作し、違う文化の人々が繋がるきっかけを作りたいです。

●発行日 平成28年4月1日 ●発行 熊谷市
●編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎048-524-1111(内線206) ☎048-520-2870

ポップ・ステップごみ減量!

第1回 あなたのゴミは大丈夫?

ごみをいつ、どのように出すかご存知ですか?

普段何気なく出しているごみですが、意外と思いつきや勘違いをして出してしまういませんか?例えば、「座いす」は「不燃ごみ」でしょうか?それとも「粗大ごみ」でしょうか?

黄色い表紙が目印の「ごみ分別一覧表」(平成27年7月市報同時配布)の「いす(金属製)」を確認してみましょう!

また、ごみを出す日は「熊谷市くらしのカレンダー」(3月市報同時配布)で確認できます。お手元がない場合は、どちらも市ホームページからご覧いただけます。また、市役所および各行政センター、各公民館等でもお配りしています。

正しく分別することでごみを資源にすることもできます。もう一度ごみの分別を確認して、ポップ・ステップごみ減量!

※「座いす」は「粗大ごみ」です。
◆環境美化センター ☎048-524-7121



人口と世帯

平成28年3月1日現在(対前月比)

■人口 200,405人(-160) 男 99,956人(-94) 女 100,449人(-66) ■世帯 84,312(-26)

「市報くまがや」4月号は、72,500部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。